

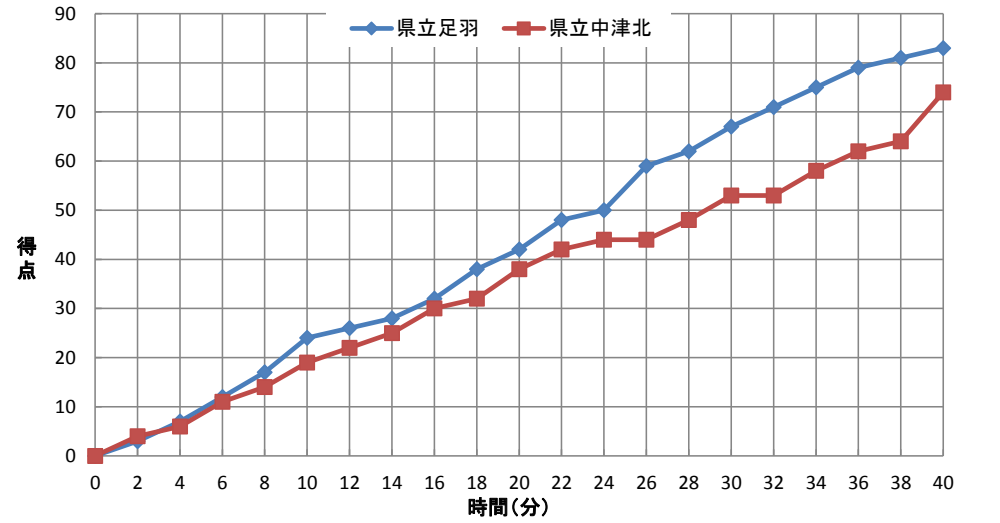


平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

女子		平成28年7月31日		16:10 開始													
1回戦		広島サンブラザ		B													
◎ 県立足羽		83		74 県立中津北													
(福井県)		<table border="1"> <tr><td>24</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>18</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>25</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>16</td><td>4th</td><td>21</td></tr> </table>		24	1st	19	18	2nd	19	25	3rd	15	16	4th	21	(大分県)	
24	1st	19															
18	2nd	19															
25	3rd	15															
16	4th	21															
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則				
* 4	宮崎 安奈	11	1	2	4	2	* 4	清本 優菜	29	0	13	3	4				
* 5	宮下 希保	13	0	6	1	1	* 5	中春 真実	12	1	4	1	2				
* 6	灰塚 千沙都	0	0	0	0	3	* 6	宮崎 真穂里	2	0	1	0	1				
* 7	五十子 玲奈	6	2	0	0	1	* 7	畑中 みつみ	16	3	2	3	3				
8	灘本 陽香	2	0	1	0	1	* 8	東 真菜	9	3	0	0	3				
9	地村 真奈美	21	0	9	3	1	9	松本 あさひ	-	-	-	-	-				
* 10	浅野 瑛菜	14	0	6	2	4	10	末神 晴奈	0	0	0	0	1				
11	竹本 結依	4	0	2	0	2	11	弓崎 結依菜	-	-	-	-	-				
12	丸山 香織	6	0	3	0	0	12	堀 冬佳	-	-	-	-	-				
13	花山 迪理	2	0	0	2	1	13	高橋 菜摘	-	-	-	-	-				
14	関口 和華	0	0	0	0	0	14	平川 稚尋	6	0	2	2	4				
15	林 未紗	4	1	0	1	0	15	後藤 祐佳	-	-	-	-	-				
コーチ	林 慎一郎					0	コーチ	大津留 礎					0				
Aコーチ	禿氏 恵彰						Aコーチ	坂本 隆志									
合計		83	4	29	13	16	合計		74	7	22	9	18				
主審: 皆川 義紀																	
副審: 渡邊 真代																	

得点経過



CTO	1・2P	3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	16:20	18:37	24:35	26:41	31:50	:	:	:

〔 戦 評 〕

第1P、スタートは足羽#4、5、6、7、10、中津北#4、5、6、7、8。両チーム、ディフェンスはハーフコートマンツーマン。高さで有利な足羽は、ディフェンスリバウンドを確実に取ることでリズムを掴みにかかる。オフェンスでは、外と中とバランスよく得点した。対する中津北は、持ち前の運動量を活かしてボールを奪いに行く。足羽#5に対しては徹底的にトラップにいき、楽にプレイをさせない。序盤から#4の連続得点、#7の連続3Pで得点を重ねる。中津北は後半、ファウルが重なり、足羽がフリースローを確実に決めて点差をつける。24対19、足羽リードで終了。

第2P、足羽#9が奮闘。インサイドでの強気なプレイで連続して得点を重ねる。対する中津北は#7、#8の3P、#4の1対1で得点を重ねる。中津北は2-2-1ゾーンプレスで流れを掴みにかかるものの、足羽#9の得点を抑えることができない。足羽はインサイドで確実に得点を重ね、42対38、足羽リードで前半終了。

第3P、足羽#5が巧みなスティールを見せる。足羽は#5、#9を中心に得点を重ねる。また#7は速攻からの3Pで貢献した。中津北は得点できない苦しい時間が続いたが、残り3分、タイムアウトを通して気持ちを切り替えた。ボールに果敢に喰らいつき、オフェンスの機会を増やした。67対53、足羽リードで終了。

第4P、追いつきたい中津北は第4Pとは思えないほどの運動量を見せた。1-2-1ゾーンプレスから1-3-1ゾーンへのチェンジングで足羽にプレッシャーを与える。中津北#7は持ち前の速さを活かしてボールを奪い、自チームに貢献した。対する足羽も、スティールからの速攻を確実に決めるなど、冷静にオフェンスを展開した。両チーム、リバウンドやルーズボールに果敢に飛び込む強気なバスケットを見せてくれた。最終スコアは83対74で足羽が勝利。2回戦へと駒を進めた。

戦評: 西本 宏典

記録: 海田高校